

島田市の特別支援教育

島田市教育委員会  
学校教育課  
増田 七美

1

## 本日の流れ

- 1 平成30年度 of 取組成果とその理由
- 2 新たな課題
- 3 更なる就学支援の充実のために



2

## 1 平成30年度 of 取組成果とその理由

- (1) 特別支援学級数と在籍者数
- (2) 島田市就学支援委員会審議数の変化
- (3) 特別支援教育室「たんぽぽ」  
のニーズの高まり
- (4) 他機関との連携による成果



3

## (1) 特別支援学級と在籍者の増加 平成30年度

金谷小に自閉情緒学級  
六合小に肢体不自由学級  
島一小に知的学級

再設  
再設  
増設

⇒ **3** クラス増

4

(1) 特別支援学級と在籍者の増加  
平成31年度

六合中に自閉情緒学級  
六合中に知的学級  
島一中に知的学級  
初倉小に知的学級

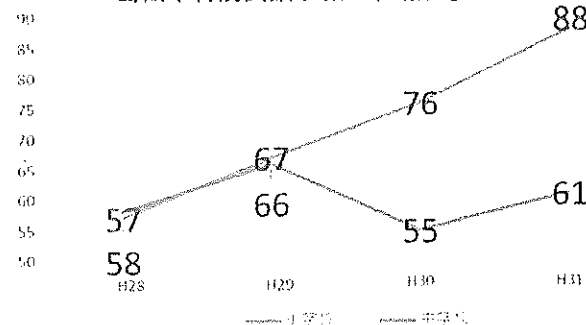
再設  
増設  
増設  
増設

⇒ 4 クラス増

5

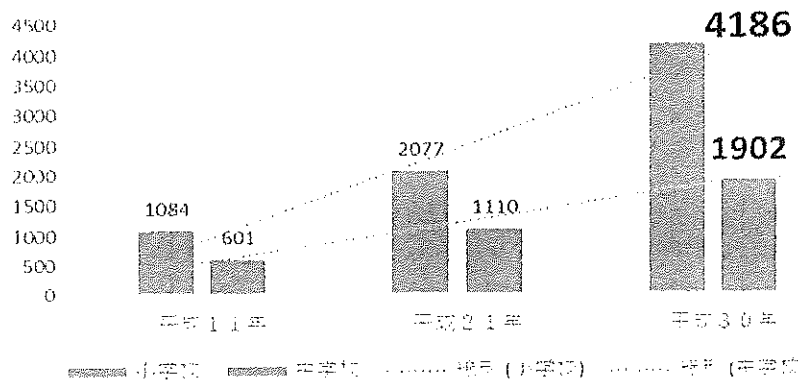
(1) 特別支援学級数と在籍者数の増加

島田市特別支援学級 在籍児童生徒数



6

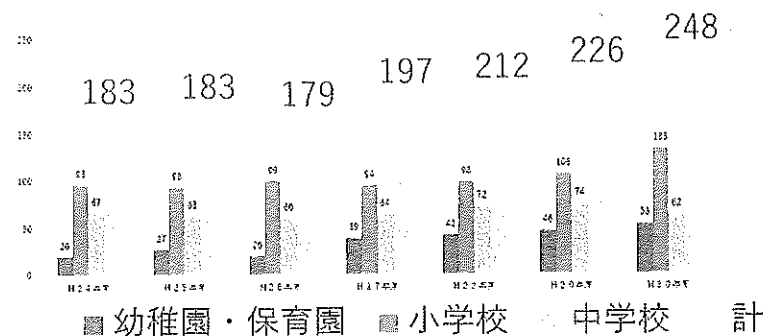
特別支援学級 児童生徒の推移 (静岡県)



平成30年度版「静岡県の特別支援教育より」

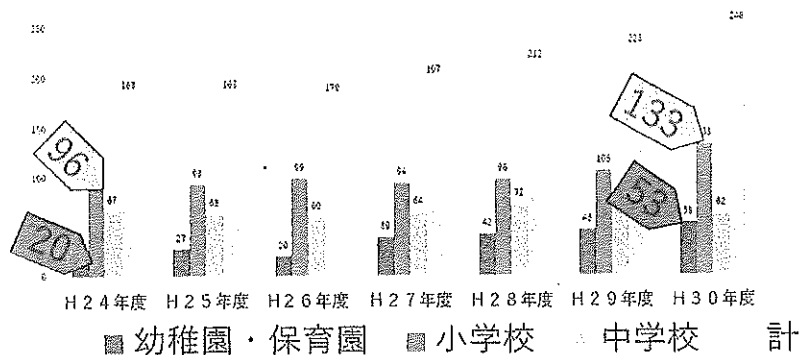
7

(2) 島田市就学支援委員会審議数の変化

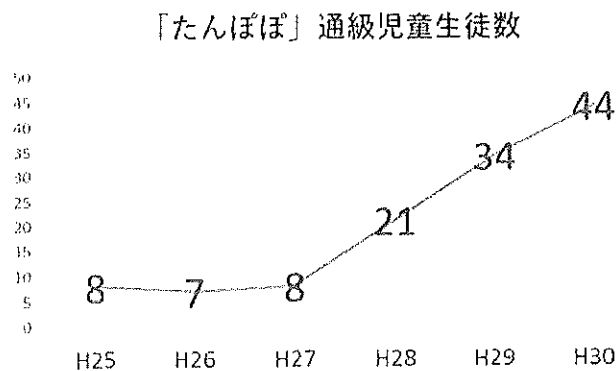


8

(2) 島田市就学支援委員会審議数の変化



(3) 特別支援教室「たんぽぽ」のニーズの高まり



(3) 特別支援教室「たんぽぽ」のニーズの高まり

【保護者から】

- ・言葉で気持ちを伝えることができるようになった。
- ・心がりセットされ、登校しづりがなくなってきた。
- ・自分以外の周りの状況が見えるようになり、人の気持ちを考えることができるようになった。
- ・自分をたたいたり、つねったりしなくなり、心が落ち着いてきた。
- ・パニックやフラッシュバックがなくなり、「ま、いっか」と気持ちを処理できるようになった。



(3) 特別支援教室「たんぽぽ」のニーズの高まり

【子どもたち】

- ・知らない人がいても少し平気になった。
- ・心の「モヤモヤ」がなくなってきた。
- ・自分の心が広がった。
- ・読んだことを今までより長く覚えることができるようになった。



(3)特別支援教室「たんぽぽ」のニーズの高まり  
 困り感をもつ児童・生徒と保護者の  
 大きな支えとなっている

たんぽぽ教室アンケート 指導に対するの満足度

**保護者 4.9点(5点満点)**

**児童 4.1点(5点満点)**

13

(4) 他機関との連携による成果

**【成果】**

- ・ 早期からの就学支援
- ・ 特別支援学級や  
通級指導教室についての理解

14

(4) 他機関との連携による成果

**【関係課の担当者との連携強化】**

- 特別支援専門嘱託員を配置
- 臨床発達心理士、保育士、教員出身の嘱託員との常日頃からの連携
- 年中からの就学支援をスタート
- それぞれの担当者が共に研修会に参加し同じビジョンをもつ。

15

(4) 他機関との連携による成果

**【保護者に寄り添う就学支援】**

- ニーズに応える保護者面談  
(H30.1時点で165回)
- 保護者のニーズに応じて特別支援学級  
特別支援学校への見学・体験同行
- 通常学級の見学同行
- 学校に慣れるための(入級前の)  
トレーニングや体験に同行  
=学校や園の協力と理解

16

(4) 他機関との連携による成果

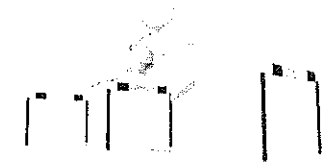
【園との連携】

- 通級指導教室説明会 園の参加者  
H29年度 1園 1人  
H30年度 6園 のべ 6人
- 特別支援学級見学会 園の参加者  
H29年度 3園 のべ 3人  
H30年度 13園 のべ 16人
- 園長会への参加 (H30年度より)

17

2 新たな課題

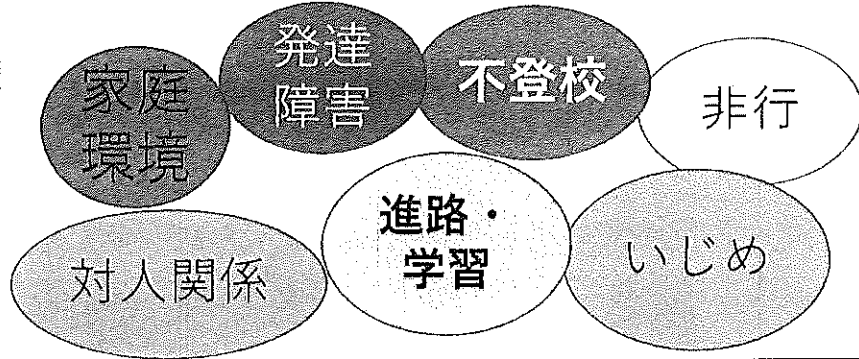
- (1) 発達障害と不登校
- (2) 複雑化・多様化する障害  
(愛着障害、感覚過敏、母子分離不安等)



18

(1) 発達障害と不登校

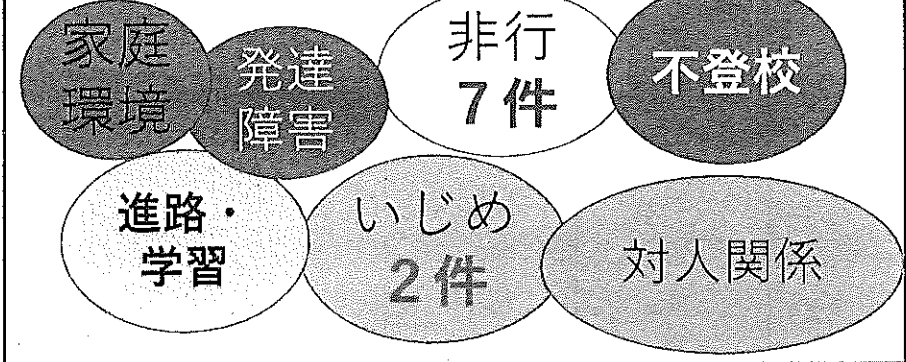
教育センターの相談件数 478件 (平成29年度)



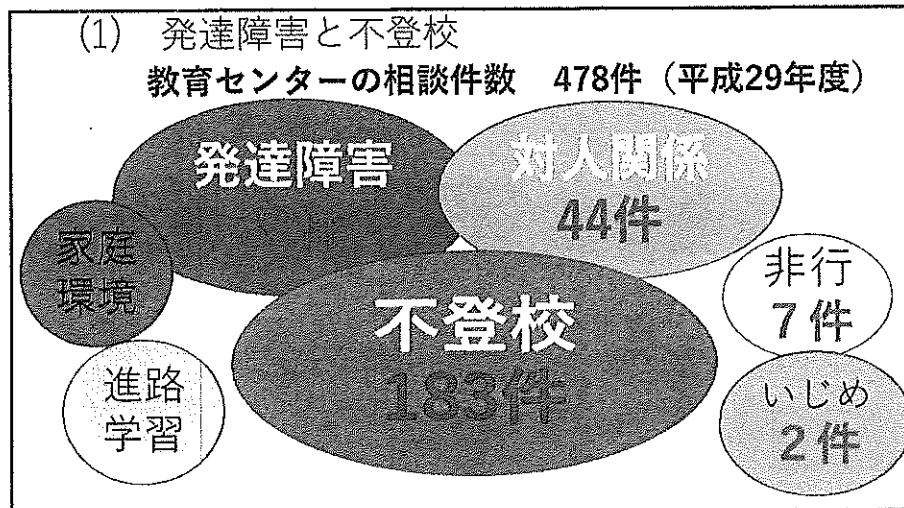
19

(1) 発達障害と不登校

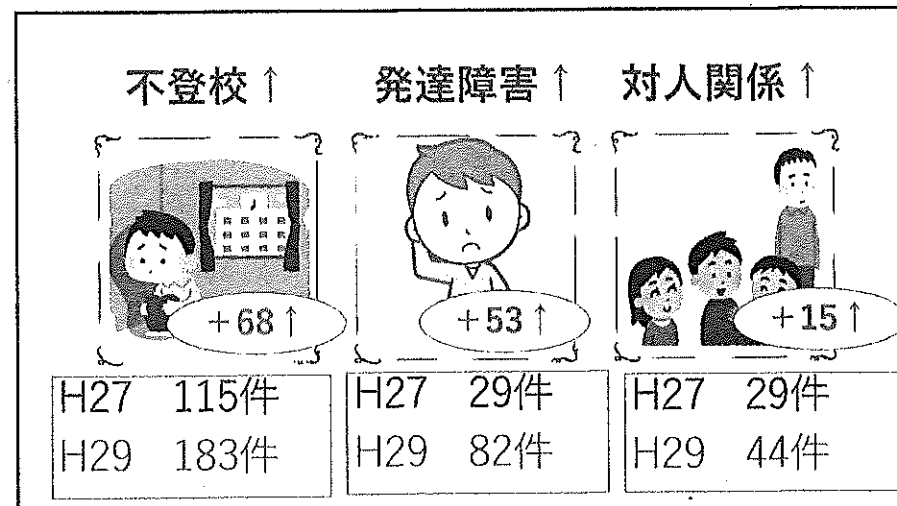
教育センターの相談件数 478件 (平成29年度)



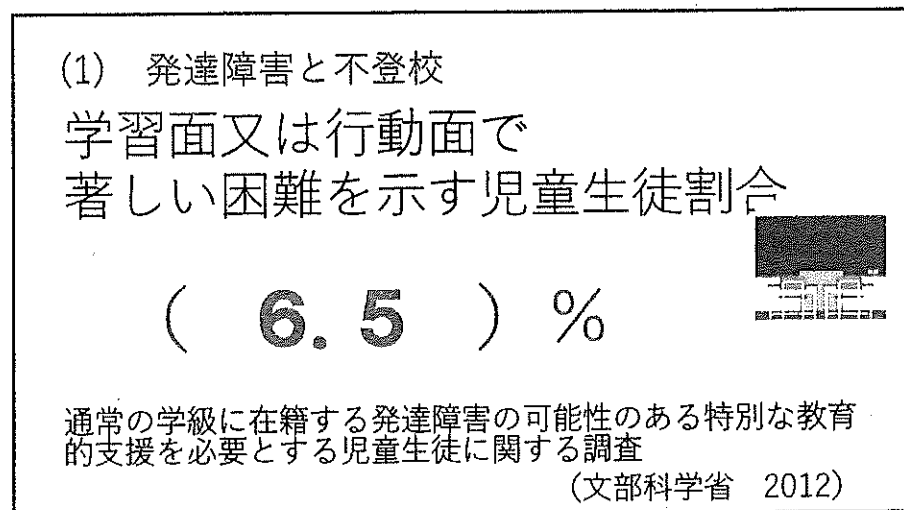
20



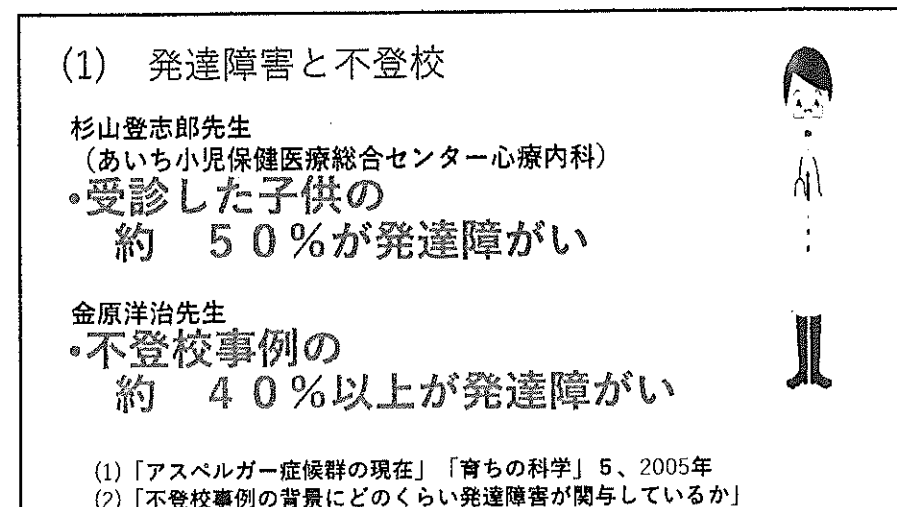
21



22



23



24

(1) 発達障害と不登校

ASD (自閉症スペクトラム) 児

- ◆ 同年代の他の子と興味対象が異なる
- ◆ 教室のルールに合わせるのが難しい
- ◆ 感覚過敏のため、教室に入りづらい
- ◆ 行くのがあたりまえという常識が通じない
- ◆ 言動が目立って いじめの対象になりやすい
- ◆ 記憶が鮮明で、不快感・不安が反復しやすい



25

(1) 発達障害と不登校

ADHD児が不登校になりやすい理由

- ◆ 多動・衝動的な行動「わがまま」とみられがち
- ◆ 刺激が統制できず、対応できない
- ◆ 注意・叱責されることが多い
- ◆ 不注意による聞き落とし・聴覚保持の弱さ  
 情報が欠落して、勘違いをする  
 『自分だけ 聞かされていない』  
 『自分はこのけ者にされた』 (被害的に受け取る)



26

(1) 発達障害と不登校

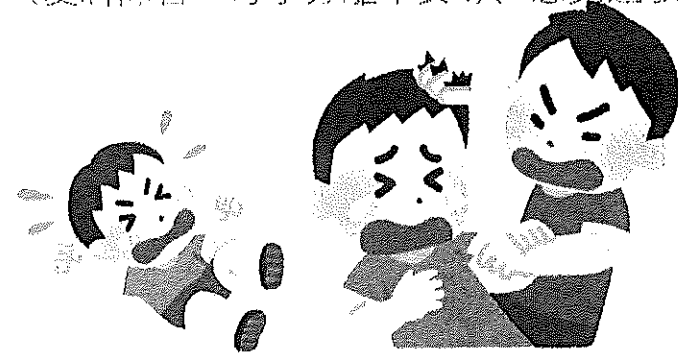
LD (学習障害) 児が不登校になりやすい理由

- ◆ 学習定着の弱さ
- ◆ 「やればできるのにやらない」  
 という目でみられがち
- ◆ 努力しているのに、できるようにならない  
 = 不全感・劣等感・孤独感(理解されにくい)
- ◆ 授業内容についていけず学級にすることが苦痛



27

(2) 複雑化・多様化する障害  
 (愛着障害・母子分離不安等、感覚過敏)



28

- (2) 複雑化・多様化する障害  
(愛着障害、感覚過敏、母子分離不安等)

「言うことを聞かないのに、文句や要求ばかりする」  
 「今までやってきた対応・指導ではうまくいかない」  
 「してはいけないことを注意すると、  
 余計その行動の問題が増える」  
 「激しい暴力が突然起き、押さえても収まらない」



叱るだけでは解決しない  
 今までの支援では効果がない

29

- (2) 複雑化・多様化する障害  
(愛着障害、感覚過敏、母子分離不安等)



愛着障害 (AD)

愛着 = 「特定の人に対する情緒的絆」

○安全基地機能 = 恐怖や不安から守ってくれる

○安心基地機能 = そこに行くと落ち着く

○探索基地機能 = そこから離れても大丈夫で、

やったことを報告して認めてもらう



この3つの絆が育っていない問題

30

- (2) 複雑化・多様化する障害  
(愛着障害、感覚過敏、母子分離不安等)



背景 (原因) に違いがある

- ・ ADHDは「行動」の問題
- ・ ASD (自閉症スペクトラム) は  
「認知 = とらえかた」の問題
- ・ AD (愛着障害) は「感情」の問題

31

- (2) 複雑化・多様化する障害  
(愛着障害、感覚過敏、母子分離不安等)

(例) 多動というあらわれ



32



- (2) 複雑化・多様化する障害  
(愛着障害、感覚過敏、母子分離不安等)

**【いつも】家庭でも学校でも？**

**【広い場所】になると走りまわる？**

**【月曜日の朝】に決まって多動になる？**

33

- (2) 複雑化・多様化する障害  
(愛着障害、感覚過敏、母子分離不安等)

**ADHD = 【いつも】**

**自閉症スペクトラム = 【広い場所】**

本人に落ち着ける「居場所感」がない  
なくなったと感じる時の多動「喪失感」

**愛着障害 = 【月曜日の朝】** 

家庭内での関係性の問題が感情状態に影響する。

34

- (2) 複雑化・多様化する障害  
(愛着障害、感覚過敏、母子分離不安等)

### 感覚過敏

- ・蛍光灯のチカチカが気になってしかたない
- ・エアコンの音が耐えられない
- ・非常ベルやピストルの音が嫌で不登校になった
- ・特定の感触の服しか着ない
- ・白いごはんしか食べない
- ・耐えられないにおいがある



35

- (2) 複雑化・多様化する障害  
(愛着障害、感覚過敏、母子分離不安等)

**感覚刺激に対する反応異常がASD  
児の80%以上に見られる。**

(Gomes et al 2008 Marco et al)

**ASDの人の信頼性のある自叙伝全  
てに感覚の問題が記述されている。**

(Ewin.et al.2012)



36

3 さらに就学支援の充実のために  
子どもの育ちにかかわる「課」の連携強化



37

子どもの育ちにかかわる「課」の連携強化

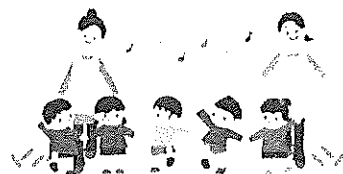
【切れ目のない支援実現のために】  
教育センターの臨床発達心理士と  
子育て応援課の臨床発達心理士の  
連携強化



38

子どもの育ちにかかわる「課」の連携強化

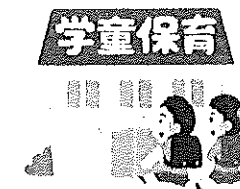
【島田市の保育・幼児教育のために】  
関係課のさらなる連携で  
就学前の幼児教育・保育の充実



39

子どもの育ちにかかわる「課」の連携強化

【放課後の子どもたちのために】  
学童・放課後デーサービス等につ  
いての適切な情報提供



40

子どもの育ちにかかわる「課」の連携強化

【早期子どもの困り感に気づくために】  
4才以降～6才の間に  
園児全員の発達を確認する場を設定し、  
早期からの就学支援の実現  
(例: 5才児健康診断・SDQの活用等)



41

島田市の  
子どもたちのために  
連携を強化し  
よりよい支援を！



42

ご清聴ありがとうございました

島田市教育委員会  
学校教育課  
増田 七美

43